

甲賀市青少年活動安全誓いのつどい

主催 甲賀市・甲賀市教育委員会

4. 職場での安全管理推進運動の実施

職場の構成員となる職員一人一人が責任能力・責任意識、安全意識、安全管理能力を強化するための取り組み。

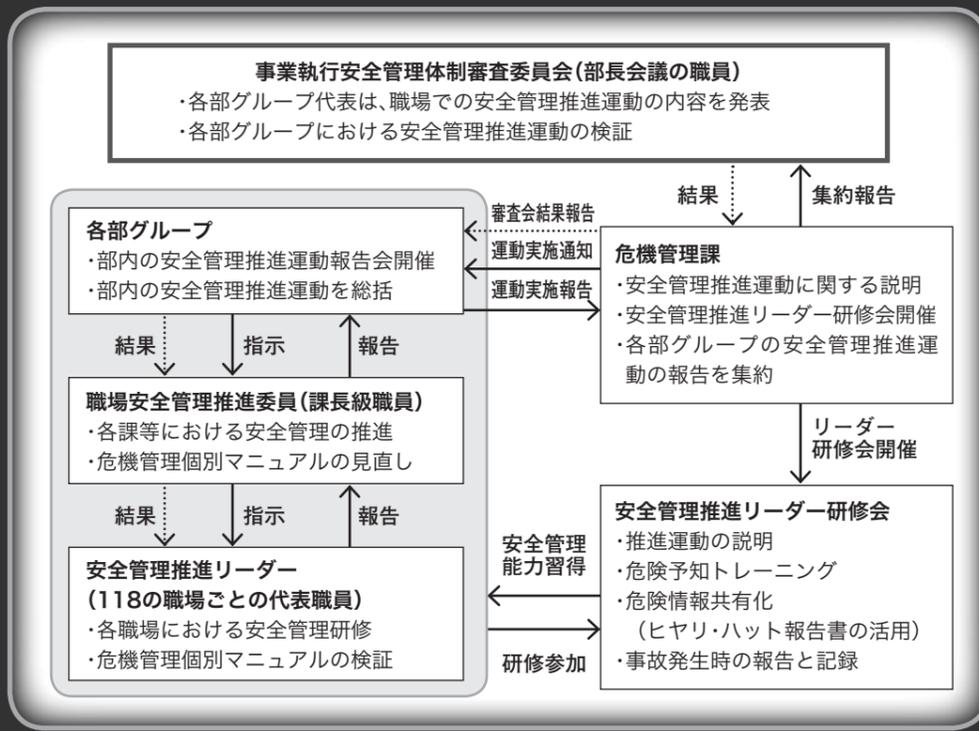
- ・7月を各職場の安全管理推進強調月間
- ・7月1日～15日 安全管理推進運動期間
(期間中 118の職場で、1001人の職員が参加
職員は意識啓発のワッペンを着用)

「甲賀市青少年活動安全誓いのつどい」の7月31日、甲賀市青少年活動安全誓いのつどいをあじうか市民ホールで開催しました。当日は、市民の皆さん、市職員、教育関係者など約650名の参加がありました。



市の安全管理体制の充実強化をめざして

安全管理推進運動実施体系図



▶安全管理リーダー研修会
(6月21・22日)
・安全管理推進運動の説明
・危険予知トレーニング
・危険情報共有化
(ヒヤリ・ハット報告書の活用)

各職場での危険を想定した研修が効果的に行われているかについては、所管している課長が安全管理推進委員となり、管理監督を行います。

まず、新たに設置した安全管理推進リーダーに対する危険予知などの事前研修を6月21日、22日の2日間、計3回に分かれ実施しました。また、自然体験活動に関わる職員を対象とした自然体験活動担当職員研修(4回実施73名受講)や市内の青少年団体の指導者を対象とした青少年自然体験活動団体指導者研修(31名受講)を継続的に開催しています。

甲賀市の安全管理の取り組み報告

事故の原因と背景を踏まえた改善

市が事故を起こしました4つの原因は、「安全管理体制の不備」「責任意識と安全意識の欠落」「安全管理能力と指導力不足」「目的・目標達成のための役割分担の不備」でありました。

これらを解消するための改善策として、「甲賀市事業執行安全管理体制審査委員会の設置」「個別安全管理マニュアルの整備」「職員の責任能力を強化するための研修会等の持続的実施」の3つを行ってまいりましたが、今年はこのに加えて「職場単位での安全管理推進運動」を新たに追加しました。

1

甲賀市事業執行安全管理体制審査委員会によるチェック

昨年からの6回の審査会を開催し、安全管理マニュアルが正しく整備されているか一斉点検を行い、不備があるものについては改善指導を行いました。

①やまのご事業については、未整備の独自マニュアルを整備させました。

②AEDについては、管理について一斉点検を実施しました。

③草刈業務については、軽微な物損事故等が連続したことから、草刈防護ネットを配備し、安全講習会を開催しました。

④放課後児童クラブの新築設計については、部屋の配置に安

2

「安全管理マニュアル」の整備と見直し

市各職場において人事異動や退職により、事業担当者が交代した場合でも、今まで培ってきた安全管理体制が引き継がれるようマニュアルの整備と業務ごとの安全確認チェックシートの追加を行っています。現在62のマニュアルを整備しています。

今後は、さらに活用しやすいように見直しを行うとともに、新たに必要となる事業においては追加作成してまいります。

3

職員の責任能力・意識、安全意識、安全管理能力を強化するための研修会等の持続的実施

安全管理に対する責任能力をより強化するため、各部署長を総括責任者として118の職場ごとに安全管理推進リーダーを新たに設置しました。

4

各職場で新たに安全管理推進運動を実施

新たに7月を「各職場の安全管理推進運動強調月間」と定め、7月1日から15日までの期間に各職場で安全管理に関する取り組みを始めました。

今年、118の職場で安全管理推進リーダーが中心となり、1001名が参加した安全管理推進運動を実施しました。取り組みでは、野外活動やイベントだけでなく、日頃繰り返している事業でも、見落としを多く含む危険が潜んでいることを確認しました。今後、事業執行安全管理体制審査委員会での運動の検証と改善を行ってまいります。

今後の取り組み

このように、体制整備と安全対策の取り組みを進めてきておりますものの、今後「職員の専門知識」「責任意識」の一層の向上を図るためには、安全管理運動が十分でない職場の改善や各事業執行に対する高度なアドバイザーが必要となります。このことから、「外部の専門的アドバイザー」の設置や、日々の安全意識を持続していくための「1年を通じた職場声かけ運動」なども実践してまいります。

結びに、甲賀市の安全管理の取り組みをさらに向上させるなかで、来年もこのつどいで市民の皆様、安全に事業が実施できたことの報告ができますよう、安全管理の実績を積み上げてまいります。

安全な青少年活動を願って

今井氏が講演

市の取り組みの報告に続き、(財)大阪府青少年活動財団企画総務室長の今井正裕氏により「安全な青少年活動を願って」と題して講演をいただきました。



▲講演する今井氏

講演では、キャンプにおける実践例を通して、青少年活動における最近の子どもの特徴を十分理解した上で、指導的立場の大人がどのように接していくべきかを分かりやすくお話いただきました。

参加者にとっては、安全で安心な子どもの体験活動を提供し、心豊かな青少年を育成していくための効果的な方法について学ぶ貴重な機会となりました。